

出石焼

但馬の小京都で生まれた珠玉のやきもの

記念対談

古陶磁をみる眼

—出石焼を中心に—

陶磁研究家

森 由美

MORI YUMI

特別展

「出石焼—但馬の小京都で
生まれた珠玉のやきもの—」

担当学芸員

2020年 10月10日(土)

13:30 ~ 15:00

※詳細は裏面をご覧ください。



【写真左から】

《袖下彩双鯉図皿》

明治34年(1901) 個人蔵

《染付牡丹孔雀図水注》

江戸時代後期~明治時代前期 個人蔵

《色絵花鳥文水注》

明治時代前期 兵庫陶芸美術館



土と語る、森の中の美術館
兵庫陶芸美術館
The Museum of Ceramic Art, Hyogo

記念対談

古陶磁をみる眼

－出石焼を中心に－

平成 17 年（2005）の秋に開館しました兵庫陶芸美術館は、令和 2 年に 15 周年を迎えます。そこで、特別展「出石焼－但馬の小京都で生まれた珠玉のやきもの－」の開催を記念し、陶磁研究家・森由美氏と本展担当学芸員による対談を実施します。本対談では、古陶磁の魅力だけでなく、出石焼が生まれた歴史的背景やその多様性、高い技術力の一端などについて、それぞれの視点を交えながら語っていただきます。

日 時／ 10 月 10 日（土）13:30～15:00（開場は 13:00）

講 師／ 森 由美 氏（陶磁研究家）

仁尾 一人（当館学芸員）

会 場／兵庫陶芸美術館 研修棟 1 階 セミナー室

定 員／ 50 名（事前申込制・先着順）

※新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、定員を 110 名から約半数の 50 名へと減らし実地します。

参加費／無料

※ただし、本展観覧券（当日半券可）が必要です

森由美（もり・ゆみ）

昭和 41 年（1966）東京都生まれ。東京藝術大学大学院美術研究科修了（保存科学専攻）。戸栗美術館（東京都渋谷区）で学芸員、日本陶磁協会で『陶説』の編集などに携わり、その後、独立して古陶磁を中心とした執筆や講演などを行っている。

*コーディネーターは、当館副館長・弓場紀知を予定しておりましたが、都合により当館学芸員が勤めます。

◆お申込みについて

ご参加には事前にお申込みが必要です。チラシ下部の参加申込書に必要事項をご記入のうえ、FAX もしくは郵送でお送りください。お電話または当館ホームページからもお申込みいただけます。

※お申込後のキャンセルはご遠慮願います。やむを得ずキャンセルされる場合は、必ずご連絡ください。

[お申込・お問合わせ先]

兵庫陶芸美術館 学芸課

〒669-2135

兵庫県丹波篠山市今田町上立杭 4

TEL 079-597-3961

FAX 079-597-3967

HP <http://www.mcart.jp>



■交通のご案内

[鉄道・バスをご利用の場合]

- JR福知山線「相野駅」下車
駅前より神姫グリーンバス「兵庫陶芸美術館」「こんだ薬師温泉」または「清水寺」行き乗車約 15 分、「兵庫陶芸美術館」下車
※相野駅発バス時刻 9:35、10:20、12:50、15:45、16:47
土・日・祝は 10:50、11:50、13:50 が増便（2020 年 8 月現在）
- JR福知山線「篠山駅」下車
9 月～11 月の土・日・祝日には丹波焼の里と篠山城下町を結ぶ直通バスを運行。ダイヤ等は美術館にお問合せください。

[自動車をご利用の場合]

- 舞鶴若狭自動車道・三田西 IC より約 15 分、または丹南篠山 IC より約 20 分
- 中国自動車道・滝野社 IC より国道 372 号を東へ約 30 分
- 阪神方面より国道 176 号を北上し、三田市四ツ辻信号を左折約 15 分
- 駐車場無料、大型可

◆参加申込書 | 記念対談 「古陶磁をみる眼－出石焼を中心に－」 2020 年 10 月 10 日（土）

*新型コロナウイルス感染拡大等によって、変更・中止となる場合があります。お申込み時に記入された連絡先（電話番号・FAX・メールアドレスいずれか）にお知らせしますので、必ず日中に連絡のとりやすい連絡先を、お間違いのないようご記入ください。

ふりがな 氏 名	* 必須	申込人数	* 必須	住 所 (市区町村まで)	* 必須	都道 府 県	市区 町 村
連絡先	* 必須 (日中連絡のとれる連絡先) TEL — —	* FAX でお申込みの方は必須 FAX — —		* メールでの連絡をご希望の方は必須 E-MAIL			

【個人情報の取扱い】 本参加申込に係る個人情報は、お客様への「当館からの連絡・お知らせ」のみに活用し、これらの目的以外には使用しません。